

せつつ 議会だより



発行：摂津市議会
編集：議会だより
編集委員会

摂津市三島1丁目1番1号 ☎06-6383-1111(大代表) /
☎072-638-0007(代表) / ☎06-6383-1603(議会事務局)
FAX 06-6382-0822 HP <http://www2.city.settsu.osaka.jp/gikai/>

No.227
2022.6.1



大阪維新の会



自民党・市民の会

市政運営の 基本方針に 代表質問



ロシアによるウクライナに対する
軍事侵攻を強く非難する決議を全員賛成で可決



日本共産党



公明党



立憲民主党・市民連合

令和4年度予算を可決

令和4年 第1回定例会を開催

主な内容

- 定例会の概要……2 3
- 代表質問・一般質問……4～11
- 議決結果一覧表……12

主な議案の内容・審議経過

令和4年第1回定例会が2月21日から3月29日までの37日間にわたり開かれました。

この定例会では、市長から提出された令和4年度当初予算など29件の議案を可決・同意し、3件の報告を受け、11件の意見書等を可決しました。

令和4年度当初予算を可決

8会計総額 742億1277万5千円

一般会計予算をはじめとする8会計の当初予算について、2月21日の本会議で各内容の説明を受け、3月7日の本会議で、総務建設・文教上下水道・民生の各常任委員会、議会運営委員会、駅前等再開発特別委員会に審査を付託しました。

各委員会は3月10日・11日・14日・15日・16日・17日・25日の7日間それぞれ審査を行いました。

その後、3月29日の本会議で、各委員長から報告を受け、賛成・反対のそれぞれの立場からの討論の後、採決を行い、いずれも可決しました。

令和4年度会計別予算の状況

会計名	区分	当初予算額	対前年度率 増減
一般会計		443億4,100万円	10.7
特別会計			
国民健康保険特別会計		93億5,867万2千円	▲3.5
財産区財産特別会計		14億2,309万9千円	2.8
パートタイマー等退職金共済特別会計		1,237万5千円	▲2.5
介護保険特別会計		73億3,373万6千円	5.6
後期高齢者医療特別会計		13億3,185万5千円	5.5
水道事業会計		34億7,408万円	▲7.1
下水道事業会計		69億3,795万8千円	▲8.5
総合計		742億1,277万5千円	5.0

▲印は減少

議案第24号

摂津市国民健康保険条例の一部改正を可決

本件は、国民健康保険の保険料率を改定するとともに、国民健康保険法等の改正に伴い、所要の改正を行うものです。

その主な内容は、基礎賦課額の保険料率について、所得割・被保険者均等割・世帯別平等割をそれぞれ引き上げるものです。

後期高齢者支援金等賦課額の保険料率につきましては、所得割・被保険者均等割・世帯別平等割をそれぞれ引き下げるものです。

介護納付金賦課額の保険料率につきましては、所得割・被保険者均等割をそれぞれ引き上げるものです。

また、世帯の未就学児に係る当該年度分の被保険者均等割額については、保険料額から、当該保険料額に10分の5を乗じて得た額を控除して得た額とするものです。

本件は民生常任委員会の審査を経て3月29日の本会議で可決されました。

議案第25号

摂津市消防団条例の一部改正を可決

本件は、消防団員の出勤に係る費用弁償を廃止し、出勤報酬を創設するとともに、勤務実績のない消防団員に年額報酬を支給しないこととするため、所要の改正を行うものです。

その主な内容は、消防団員に支給する報酬の種類を「年額報酬」と「出勤報酬」とし、年額報酬の支給対象期間内に勤務実績のない消防団員は、年額報酬を支給しないこととするものです。

また、出勤報酬の額を、災害の場合は1日につき8千円、警戒・訓練・その他の場合は1日につき3千500円と定めるとともに、出勤報酬の創設に伴い、出勤に係る費用弁償を廃止するものです。

議会日誌

2月	8日 文教上下水道常任委員協議会 16日 議会運営委員会 議会運営委員協議会 第1回定例会 (2月21日から3月29日) 21日 本会議(初日)
3月	7日 議会運営委員会 議会運営委員協議会 本会議(2日目) 本会議(3日目) 8日 文教上下水道常任委員会 10日 民生常任委員会 11日 総務建設常任委員会 14日 文教上下水道常任委員会 15日 総務建設常任委員会 16日 民生常任委員会 17日 駅前等再開発特別委員会 24日 総務建設常任委員協議会 25日 議会運営委員会 29日 本会議(最終日) 議会運営委員会
4月	22日 議会運営委員会
5月	11日 議会運営委員会 13日 議会だより編集委員会

なお、施行日は、令和4年4月1日となります。

本件は総務建設常任委員会の審査を経て3月29日の本会議で可決されました。

教育委員会委員、公平委員会委員、監査委員の選任等に同意

議会は、2月21日の本会議において、教育委員会委員の大矢優子氏の任期満了に伴い、引き続き同氏を任命することに同意しました。公平委員会委員の村山英昭氏の任期満了に伴い、新たに磯野真氏を選任することに同意しました。

また、3月29日の本会議において、監査委員の馬場博氏の辞職に伴い、新たに石川晴久氏を選任することに同意しました。

本会議・委員会の記録の閲覧

本会議の経過を記録した会議録、委員会の経過を記録した委員会記録については、次の施設で閲覧できます。

- ・市民図書館 ・鳥飼図書センター
- ・各公民館 ・市役所の情報コーナー
- ・別府コミュニティセンター
- ・男女共同参画センター（コミュニティプラザ内）

なお、令和4年第1回定例会の会議録は、令和4年5月下旬頃から閲覧できるようになる予定です。

閲覧を希望される方は、それぞれの窓口でお申し出ください。

議会のホームページ

市議会のホームページでは、委員会での発言内容を聴くことができる録音ファイルを掲載しています。また、市議会のしくみや傍聴の手続き、過去の議会だより、議決結果の一覧、議員名簿等がご覧になれるほか、会議録、委員会記録の検索、閲覧もできますので、ぜひご利用ください。



本会議の映像を配信しております

市議会ホームページで本会議の様子をライブ及び録画で配信しております。スマートフォンでも視聴できますので、ぜひご覧ください。

なお、都合により一部の日程で音声のみの提供となっております。ご了承ください。

摂津市議会 検索

(<http://www2.city.settsu.osaka.jp/gikai/>)

○教育委員会委員

大矢 優子氏

○公平委員会委員

磯野 真氏

○監査委員

石川 晴久氏



3月7日及び29日の本会議で、次の意見書等を可決し、議会議案第2号から第11号は国会及び関係行政機関に送付しました。

○議会議案第1号

ロシアによるウクライナに対する軍事侵攻を強く非難する決議

○議会議案第2号

地域公共交通維持のための財政支援の拡充を求める意見書

○議会議案第3号

通学路への安全確保を求める意見書

○議会議案第4号

北朝鮮による拉致問題の早期完全解決を求める意見書

○議会議案第5号

PFOA等による健康影響の解明及び指針等の整備を求める意見書

○議会議案第6号

大阪府の保健所体制と医療の拡充を求める意見書

○議会議案第7号

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准に向け

た環境整備を求める意見書

○議会議案第8号

介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める意見書

○議会議案第9号

性的少数者に対する差別の解消と共生社会を実現するための法整備を求める意見書

ロシア連邦の軍事侵攻に対し抗議文を送付

本市議会は、ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻に対し、即時の攻撃停止と、部隊の撤収、国際法を遵守した誠意ある対応を強く求める抗議文をロシア大使館に送付しました。

北朝鮮のミサイル発射に対し抗議文を送付

本市議会は、北朝鮮が弾道ミサイルを発射したことへの抗議文を金正恩國務委員会委員長に送付しました。

アメリカの臨界前核実験に対し抗議文を送付

本市議会は、アメリカ合衆国が臨界前核実験を実施したことに、抗議文をアメリカ大使館に送付しました。

○議会議案第10号

「子ども基本法(仮称)」の早期制定を図り、子ども政策の進展を求める意見書

○議会議案第11号

中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び抗議を求める意見書

議会の申し合わせ事項

市議会では、次の事項を申し合わせています。市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

- 年始及び暑中見舞い等の時候の挨拶状は出さない。
- 葬祭に際して、桜、香典、花、供物、弔電等を行わない。
- 結婚、入学等慶事に際して、お祝い、祝電メッセージ等を行わない。
- 各種団体等の諸行事に際して、お祝い、祝電、寄付、寸志、広告等を行わない。会費の額が明記されていれば、この限りでない。
- 中元及び歳暮等の贈答並びに手帳、カレンダー類の配布は行わない。
- 新聞等の名刺広告及び協賛広告は行わない。
- 後援会名義で前記の行為を行わない。

代表質問

2月21日に市政運営の基本方針の説明が行われ、これに対して、3月7日・8日に各会派が代表質問を行いました。また、3月29日に1人が一般質問を行いました。主な内容は以下のとおりです。

大阪維新の会

質問者



出口 康司



塚本 崇
(質問時間45分)



香川 良平



三好 俊範

◆鳥飼まちづくりについて

問 鳥飼まちづくりブランドデザインについて現状と今後の取り組みの見解を伺う。

答 【市長】鳥飼まちづくりブランドデザイン(案)の策定後、議会に報告する。パブリックコメント後にブランドデザインが策定されれば取り組みを進めていく。

答 【市長公室長】鳥飼地域を大きく4つのエリアに分けた上でエリアごとの特徴を踏まえて魅力あふれるまちづくりを目指していく。

◆JR千里丘駅西地区再開業について

問 本事業の意義について見解を伺う。

答 【市長】交通混雑や密集市街地という課題を解消し、摂津市の顔、玄関口として人々が集い、賑わいが生まれるまちづくりを目指していく。

答 【建設部長】令和4年度は、本市市街地再開業審査会で議決された権利変換計画案を縦覧手続きし、令和4年度秋ごろには権利変換計画を決定する。

◆阪急正雀駅前道路整備について

問 今後、阪急正雀駅前をどうしていきたいのか、危機感をもっているのか道路交通の観点からの見解を伺う。

答 【市長】歩行空間の確保等交通安全の課題から道路拡幅事業を進めている。周辺の交通環境の変化も踏まえウォークアブルな歩行者中心の賑わいのあるまちづくりを進めている。

答 【建設部長】現在取り組んでいる道路拡幅事業に伴う残地部分については駅前のポテンシャルを活かすため用地確保をし、地域の顔となる駅前空間づくりに取り組んでいく。

◆防犯対策について

問 防犯対策について本市の見解を伺う。

答 【市長】市民の皆様が夜間でも安心して通行できるように、防犯灯の設置や摂津警察署との協議により防犯カメラの設置をしてきた。今後このような施策を進め、安全で快適に暮らせるまちづくりに取り組んでいく。

◆PFOAについて

問 市内の井戸水や水路で暫定目標値を大きく上回る数値が示される中、市民の不安解消のため、市内の化学メーカーに対して自主的な数値の開示の働きかけを行っていたきたいと考えるが市として見解を伺う。

答 【市長】風評被害を生じさせないためにも「暫定的な目標値」(化審法の第一種特定化学物質)であることを念頭に、身体への影響については「国際的な評価はない」(土壌等の濃度分析については「国際的に標準化された分析方法がない」)ことなどを適切に説明する必要があると考える。現在は大阪府を通じて国に要望を行っているが必要に応じて自らが行動に移すことも想定している。

答 【生活環境部長】市内化学メーカーにおける敷地内のPFOAの水質調査結果はPFOA対策連絡会議において非開示資料となっている。改めて水環境への管理を徹底するよう要請していく。

◆ごみ処理施策について

問 ごみ処理広域化の進捗状況、ごみ処理分別見直しに係る市民への対応について伺う。

答 【市長】茨木市とのごみ処理広域化まであと1年となった。令和3年度は搬入路となるリサイクルプラザ連絡橋梁等整備工事の着工と新たなごみ分別の検討を進めた。

答 【生活環境部長】令和5年度からの分別変更に向け、令和4年度中に広域化による変更点、家庭での減量化の取り組みなど、市民の皆様にはわかりやすいガイドブックを作成するとともに地域での説明会など丁寧な周知を行うべく。



◆児童虐待防止の取り組みについて

問 昨年8月に発生した児童虐待事案発生後における再発防止の取り組みについて、また令和4年度以降の体制について伺う。

答 【市長】二度とこのような事案を起こさせないために家庭児童相談課の職員を増員するとともに、スーパーバイザーとして外部の専門家に助言をいただいております。早期発見、早期対応、リスクアセスメント力の強化に努め職員一人ひとりの資質向上に努めていく。

答 【次世代教育部長】令和4年度以降に児童虐待対応の経験がある専門職を新たに2名増員するとともにチーム制の導入を予定している。年々深刻さが増している児童虐待対応については今後も状況を鑑みながら体制の強化を図っていく。

◆子育て支援について

問 本市子育て支援として一時預かり、病児保育、学童保育の増設の見解を伺う。

答 【教育長】ソフト面は子育て世代包括支援センターの設置など、庁内各部署や関係機関が連携した体制の充実、妊産婦や多胎児への支援拡充を制度化する。ハード面ではとりかいかども園を児童センターを含む複合施設建設に向けた実施設計や学童保育室の増設を行うっていく。

答 【次世代育成部長】令和4年度はせつつ幼稚園を民営化し、園舎の建て替えを進めるとともに子どもクリニックを併設した病児保育施設の整備を進める。また摂津学童保育室は設計、工事を1年で実施、千里丘小学校では校舎の増築時に学童保育室を増設する予定を進めていく。

問 本市子どもたちの学力は向上傾向にあるがその要因を問う。また、理科や数学はまだ課題として残っている。どのように取り組んでいくのか。

答 【教育長】各学校の全教員で学力調査の結果を分析し、授業改善に生かしたことで、また子どもたちの自尊感情を醸

◆学力向上の取り組みについて

問 本市子どもたちの学力は向上傾向にあるがその要因を問う。また、理科や数学はまだ課題として残っている。どのように取り組んでいくのか。

答 【教育長】各学校の全教員で学力調査の結果を分析し、授業改善に生かしたことで、また子どもたちの自尊感情を醸

成する取り組みを行ったことが考えられる。

答 【教育総務部長】令和4年度以降、理科教育に専科教員を配置して取り組んでいく学校があり、今後の教科担任制を見据え拡大していきたいと考えている。

◆吹田市と連携した中学校給食の実現について

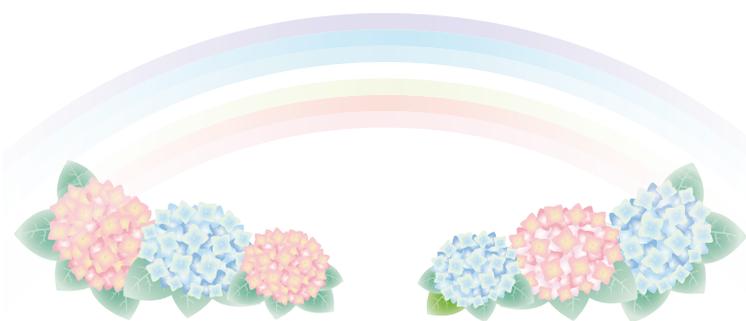
問 吹田市と連携した中学校給食の実現についての見解を伺う。

答 【教育長】昨年8月に吹田市から健都で中学校給食共同運用の可能性を検討しないかと提案があり、協議を進めている。しかしながら一万七千食という数字や、令和8年度を期目標ということから多くの課題がある。

答 【教育総務部長】運営事業者が限定的になり持続可能性に課題があること、事業者の動向に計画が左右されるため、複数の選択肢を持ちながら可能な限りの早期全員喫食を目指していく。

大阪維新の会の
その他の質問項目

- ・（仮称）味生コミュニティセンターについて
- ・ふるさと応援寄附金推進事業について
- ・本市財政状況について
- ・健都イノベーションパークへの企業誘致について
- ・子ども食堂への補助について
- ・経営支援について



質問者



安藤 薫



弘 豊
(質問時間45分)



増永 和起



野口 博

◆コロナ禍における市民生活の現状認識と地方自治体の役割について

問 令和2年度は税収の大幅減を見込んでいたが、決算においては主要基金を約12億円積み増す結果になっている。令和3年度の財政見通しを含めて認識を伺う。

答 【市長】新型コロナの影響により市税収入は相当落ち込むと予想していたが、実際には予想していたほどの落ち込みはなく単年度黒字になると見込んでいる。

問 市の財源と臨時交付金を活用

用し、市民や市内事業者の実態に合わせて独自支援策を実施すべきと考えるが見解を伺う。

答 【市長】現在、大阪府ではオミクロン株の影響により、医療提供体制がひっ迫するなど、予断を許さない状況。今後は、日々刻々と変化する状況を的確に捉え、交付金を活用しその時々に応じた施策を実施していく。

問 市職員の体制強化とケア労働従事者への処遇改善について、政府が昨年末に閣議決定した経済対策で予算措置が

講じられた。公立施設の職員への対応も含めて見解を伺う。

答 【市長公室長】保育士、放課後児童支援員や社会的養護従事者等の報酬水準や近隣市の状況を確認し検討を行った。今後、民間の法人等を含めて処遇の見直し状況を確認し必要に応じた検討を行う。

◆中小企業支援について

問 2021年版「中小企業白書」は売上高、経常利益とも中小企業が 대기업より大幅に悪化したと指摘。コロナ禍のもと中小企業の置かれている現状と対策について見解を伺う。

答 【市長】新型コロナに伴う行動制限措置が繰り返される中、人々の生活様式、購買方法の激変が続く、下請けや資金力が弱い中小企業は厳しい状況にあると認識している。

答 【生活環境部長】ビジネスサポートセンターの相談員を増員し、訪問やオンラインによる相談支援を開始する。また、事業転換に伴う新商品開発等への費用を補助していく。

◆国民健康保険について

問 保険料の値上げが提案されているが、国保加入者の状況の認識と、なぜ値上げが必要なのか見解を伺う。

答 【市長】被保険者の低所得化、高齢化の進展による医療費増、コロナの影響も推察される。大阪府国保運営方針に基づき、令和6年度の保険料率統一を見据え激変緩和措置を講じて保険料率を設定。国・府に対して、さらなる公費の拡充を要望していく。

◆上下水道料金について

問 一昨年、水道基本料金の減額が行われたが、物価の高騰や保険料値上げ等の負担増が続く中、一般会計の繰り入れで再度の実施を求める。また、令和5年度の料金引き上げの見直しを求めるが見解を伺う。

答 【市長】令和2年度の料金減額は緊急的な経済支援策で、再度の実施は考えていない。給水収益の減少や経費増加など厳しい経営環境の中、料金改定時期を少しでも先送りできるように経営努力を積み

重ねていく。

◆コロナ禍での子どもの貧困について

問 「子どもの貧困に関する全国調査」によると「コロナの影響をより強く受けているのが貧困世帯だ」という実態が表れている。市としての認識と具体的な対策を伺う。

答 【教育長】ひとり親世帯や低所得世帯において、収入減少による食費など生活費の負担が大きくなっている。相談支援の充実や、様々な給付金の迅速な給付などに努めてきた。庁内、関係機関との連携を密にし、今後も粘り強く取り組んでいく。

◆少人数学級の拡大について

問 コロナ禍のもと子どもをしっかりと支えるより良い学校づくりは喫緊の課題。少人数学級を前倒しで実施することを求めるが見解を伺う。

答 【教育長】今年新たに小学3年生で、以降毎年対象学年が拡大され、令和7年度に小学校すべての学年で35人以下の学級編成が実現する。中学校の少人数学級編成の実現も

◆全員喫食の中学校給食実現に向けた課題について

問 規模の小さい自校調理方式の方が小学校給食で培った安全安心のおいしい給食が提供できると求めてきたが、一方で吹田市との共同運用（大規模センター）の検討がされている。検討状況とより良い給食についての見解を伺う。

答 【教育長】中学校給食の今後の方針については、基本方針に基づき、給食センター方式の実現可能性を検討。吹田市との共同運用は選択肢の一つとして検討。本市単独での給食センター用地についても調査を進めている。

◆発がん性等が指摘される有機フッ素化合物(PFOA)について

問 全国一高い濃度でのPFOA汚染についての認識と「市民の健康を守る、不安をなくすことは市の責任」と述べ

られたが、どのように健康を守り不安をなくすのか見解を伺う。

答 【市長】水環境において「要監視項目」となり暫定的な目標値として、50ppbが設定され「化審法の第一種特定化学物質」となっているが、身体に対しては「国際的な評価がなく、国が今後、知見を集約していく」という現状を説明。自らが環境省に赴き、その思いや風評被害への恐れについて、市の現状を説明してきた。

◆市内公共交通の充実について

問 支援を必要とする人だけではなく元気な高齢者、子育て世代などの外出、移動を支援することは、市民の健康増進やまちの活性化などにつながる自治体としての重要な役割と考える。市内公共交通基本計画について見解を伺う。

答 【建設部長】検討会で、これからの摂津にふさわしい公共交通のあり方を検討する必要がある。学識経験者や関係部局職員を交えて公共交通の課題や問題点を整理・検討し、

今後の計画案として取りまとめたい。

日本共産党の
その他の質問項目

- ・高齢者・障害者支援について
- ・生活困窮者への支援について
- ・保育・学童保育における公的役割について
- ・児童数の増減と学校規模の課題について
- ・市民の安全を守る災害・防災対策について
- ・地球温暖化防止の取り組みについて
- ・JR千里丘駅西地区再開発事業について
- ・阪急京都線連続立体交差事業について
- ・鳥飼まちづくりについて
- ・魅力ある公園づくりについて
- ・ジェンダー平等の社会を目指す取り組みについて
- ・市民とともに平和を守る取り組みについて
- ・児童虐待防止の課題と今後の取り組みについて

自民党・市民の会

質問者



光好 博幸



松本 暁彦
(質問時間40分)

◆鳥飼まちづくりについて

問 本年3月末に鳥飼まちづくりブランドデザインが答申されるが、今後は短期、中長期的な視点に立って、具現化する取り組みが重要となる。改めて、鳥飼まちづくりに対する市長の意気込みを伺う。

答 【市長】将来世代に何を残し、何を形作るのか「そして、そのためには何をしなければならぬのか」地域の方々と共に考え、地域の皆さんが今まで以上に活躍できる場所、仕組みを構築し、子、孫の代まで誇りを持って生活し



嶋野 浩一朗

問 一体的なまちづくりを市民や企業、各種団体と連携・協働して推進する必要がある。令和4年度は、NPOをはじめとする民間業者等との公民連携による取り組みを検討するとあるが、どう進めていくのか見解を伺う。

答 【市長公室長】鳥飼地域の関係者が持っているノウハウやアイデアを、地域課題の解決や、多くの人を惹きつける新たな魅力の創出などに活かしていく。

◆持続可能な地域公共交通について

問 現在、多くの地域でバスをはじめとする公共交通の需要低下や経営悪化などによ

り、維持・確保が厳しくなっている。本市も昨年、市内の路線バスが減便され、市民生活に大きな影響を与えている。地域の移動手段の確保・充実に図る取り組みが、一層重要になっており、持続可能な地域公共交通の実現に向け、市の理解を伺う。

【市長】需要と供給のバランスから負のスパイラルに陥らないためにも、効率よく利用しやすい環境を作ることが必要である。そのためには、現状把握し、将来を見据え、課題も認識した上で、地域のニーズにあった、自らデザインする、持続可能な地域公共交通に向け、取り組んでいく。

◆環境を大切にする施策について

問 本市における環境問題として、PF OA問題も解決に向けて進めていかなければならない。関係企業の対策推進はもとより、国の調査などを進める必要がある。PF OAに関しては不明事項が多く、そのため発がん性、出生児への影響、農作物への影響等、

様々な報道・宣伝が行われている。国から示されている内容や本市の統計的な視点での状況、また風評被害発生の有無について、市の現状を伺う。

【生活環境部長】国は、「発がん性」、「低体重児への影響」など身体への影響については、「国際的な評価はない」と述べ、今後、知見を集約していくと表明している。また、土壤・血液・農作物の濃度等の分析方法については、「国際的に標準化された分析方法はない」とも伺っている。「がんの罹患率」、「低体重児の出生割合」の本市状況は、統計的に見て、大阪府内の団体や類似団体と比較して、特異性がないと担当部署から伺っている。「風評被害」への相談等については、地域住民からは様々な不安の声が上がっている。地域の農業者からは、その地域で栽培した農作物が売れにくくなっているなど風評被害に対する対策要望も、市に寄せられている。

問 市は国にPF OAの調査等の推進を要望するとともに

に、風評被害対策も求めるべきだが、市の見解を伺う。

【副市長】国・大阪府・摂津市がそれぞれに役割を担っていくことが重要で、科学的知見の積み重ねがないうちに話題が先行すると、風評被害の影響が大きくなる事が懸念される。市として国・大阪府等から示されている正確な内容の情報発信に努めていく。

◆児童虐待防止について

問 児童虐待防止について、検証報告書などで課題とされた虐待を見抜く力、虐待への対応力、そして子育てをサポートする力をどう向上させるのか、市の見解を伺う。

【次世代育成部長】二度と悲しい事案を繰り返さないため、家庭児童相談課の職員等を対象に怪我の見立てや虐待対応についての研修を実施する。また、外部の専門家による多角的な視点で家庭へのアセスメントや虐待対応の助言・指導を頂き、虐待を見抜く力や対応力の向上に努めていく。さらに専門職を増員するとともに、チーム制を導入し、

家庭や子どもにおけるリスクについて常に複数職員の視点でアセスメントを実施していく。保健師や母子父子自立支援員、就学前施設の保育士等と連携し、様々な専門職の視点を取り入れた支援を実施していく。

公明党

自民党・市民の会の
その他の質問項目

- ・防災・災害対応力の向上について
- ・児童・生徒の生きる力を育むことについて
- ・子育て支援について
- ・地域経済活性化について
- その他13項目

質問者



村上 英明



藤浦 雅彦



福住 礼子
(質問時間50分)



南野 直司



水谷 毅

◆財政全般について

問 新年度予算において市民へのメッセージを伺う。

【市長】いまだ「コロナ禍が明けぬ」時代であるが、力強

く施策を推し進める。都市計画事業の資金需要がピークを迎え、基金や地方債の財政支出により市民へ未来を示す予算となった。

問 本市の行政経営戦略に沿ってSDGsの達成を目指し将来を見据えた戦略について伺う。

答 【市長】千里丘駅西地区再開発は明るい道筋を示すものと考える。また、コロナ禍の新しい生活様式に順応した地域をつながり誰一人取り残さない地域社会の実現を決意し舵取りを行っていく。

◆市民が元気に活動するまちづくりについて

問 鳥飼地域の活性化について伺う。

答 【市長公室長】長期的な将来イメージを実現するため若い世代の参画が重要であり、NPOや事業者と公民連携で取り組むよう努めていく。

問 市民活動団体支援の再構築をどのように展開し、中間支援組織の必要性について伺う。

答 【生活環境部長】市民活動団

体の交流が活発に図られ機運は高まっている。感染症拡大に伴いZOOMなどの講座を開催する。また、中間支援組織が活動するための人材育成、発掘など研究していく。

◆みんなが安全で快適に暮らせるまちづくりについて

問 阪急正雀駅前道路整備に伴い賑わい創出に関する構想について伺う。

答 【市長】交通安全対策、歩行空間の確保が課題であり、道路拡幅事業を進める途上で一定の土地確保の可能性が出てきた。地元の見聞を聞きながら正雀駅前の賑わいづくりとなる空間の整備を検討していく。

問 子どもの安全対策として、通学路総点検後の具体的な取り組みについて伺う。

答 【建設部長】各通学路の危険箇所の確認、路面標示、電柱幕設置、警察の取り締まりを実施し、U字型側溝の蓋掛けとグリーンベルト設置に取り組んでいく。

◆みどりうるおふ環境を大切に

問 災害廃棄物処理計画において、迅速な処理に向けた体制の考えを伺う。

答 【生活環境部長】災害時は多種多様な廃棄物が大量に発生し、処理完了まで1年を超える事例もある。分別や集積場確保、収集運搬など初動体制には住民の協力と事業者との連携協力体制を図っていく。

◆暮らしにやさしく笑顔があふれるまちづくりについて

問 子どもに対する暴力の撲滅をはじめ、命を守る施策について伺う。

答 【市長】妊娠前から子育て期の切れ目ない支援が重要。子どもの発達、経済面やDVなど要保護児童対策地域協議会等と連携し児童虐待の予防・早期発見に取り組んでいく。

問 子どもの視点に立つリスクアセスメントの重要性について伺う。

答 【次世代育成部長】子どもと前施設と連携を密にして巡回訪問で積極的に子どもの状況確認を行う。また、子どもの表

情や様子を見極めるスキルを磨いていく。

問 子どもの貧困対策についての認識と取り組みを伺う。

答 【教育長】経済的不安を取り除くだけでなく生まれ育った環境で将来が左右されない支援が必要。教育分野、福祉分野の連携・協力を密にしている。

問 子ども食堂に対する助成制度と重層的支援体制について伺う。

答 【次世代育成部長】低額で食事を提供する場、多世代が交流する場としての役割がある。食を通して孤独や孤立、家庭の課題解決につながることを期待している。重層的支援は住民の複雑化・複合化したニーズを包括的に支援することであり、現時点では子ども食堂運営事業者と協力しニーズの把握に努めている。

問 「子育てしやすいまち」として待機児童解消の取り組みについて伺う。

答 【次世代育成部長】せつつ幼稚園を4月に民営化し認定こども園として90名の保育定

員を設けていく。

問 学童保育の学年延長についての取り組みと課題を伺う。

答 【次世代育成部長】児童数は減少しても学童保育入室率は上昇しており、高学年保育のニーズも高く、指導員と保育室確保を進めていく。

問 高齢者移動支援サービスは市長公約であり、実施に向けた思いを伺う。

答 【市長】高齢者が住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせることが重要。外出機会が減少していることに何とかしたいとの強い思いから、限られた利用になるが第一歩を踏み出していく。

問 健康まちづくりが期待される国立健康・栄養研究所が7月移転することを契機に市民と市施策の連携を伺う。

答 【市長】研究所は「食生活や運動を通じた生活習慣予防の研究」「健康食品や栄養療法についての情報提供」を行う機関である。職員派遣を行いパートナーシップを構築し、連携事業の企画・実施につなげ市民の健康増進・健康寿命

延伸につなげていく。

◆誰もが学び、成長できるまちづくりについて

【教育環境の維持・向上について、アフターコロナを踏まえICT機器の活用は大変重要と考えるが今後の取り組みについて伺う。

【教育長】コロナ禍においては、オンライン授業、課題配信、学習アプリの活用などで教育活動を進めることができた。全中学校のキャリア教育の職業体験活動はWEBで遠隔地の企業と生徒が交流するなど幅が広がった。ICTの効果的活用で子ども一人ひとりの特性や学習達成度に応じた学びを進め、教職員の業務改善を実施していく。

【文化・スポーツ振興について第1期と第2期計画を経て今後の在り方を伺う。

【市長】文化は、楽しさや感動、精神的な安らぎや生き生き喜びをもたらす豊かな人間性を育成するうえで重要である。正義感、公平性、他人を思いやる心は文化を大切にする環境の中で培われるなどの視

点を踏まえ、第3期文化振興計画を策定していく。

【スポーツ、健康づくりを通じた文化振興として誰もが楽しめるスポーツの取り組みについて伺う。

【生活環境部長】年齢、性別、障がいの有無に関わらず、体を動かしたい、スポーツをしたいというきっかけを作ることが重要。誰もが気軽に参加できるポッチャ等のニュースポーツ体験、トップアスリートのスポーツ教室を開催するなどスポーツを始める機会・見る機会・感性を育てる機会の一助としてスポーツ振興のすそ野を広げていく。

◆活力ある産業のまちづくりについて

【中小企業の経営支援として事業転換に伴う新商品開発等にかかる費用の補助について伺う。

【生活環境部長】ビジネスサポートセンターには、コロナ禍を契機に下請けからの脱却のために自らの得意技術とアイデアで商品化される事例がある。また、新商品の開発に

挑戦したいという相談もあり、ピンチをチャンスに変える企業への後押しとなっている。

◆計画を実現する行政経営について

【スマート自治体の推進で申請や届け出をスマホやタブレットを活用するシステムの導入について、情報弱者に配慮してどのように進めるのか伺う。

【副市長】令和3年度に市民に使いやすい汎用電子申請システムを導入し、国の「ぴったりサービス」を軸に手続きの性質などに合わせ最適なオンライン化を実現する。ICT機器を持たない方にも利用できる機会を確保していく。

【本市のシティプロモーション戦略にとって不可欠な視点について伺う。

【市長】著名な観光名所や観光資源が無いため効果的な展開をするには魅力の創造が重要である。職員の高い意識、市民・企業・団体等との連携、協働の取り組み、媒体から効果的・効率的に発信していく。

シティプロモーション戦略の市民・企業・団体との連携・協働について伺う。

【市長公室長】市民・企業の参加型でフォトコネクトやふるさと応援寄付金の返礼

立憲民主党・市民連合



三好 義治 (質問時間35分)



西谷 知美

◆(仮称)味生コミュニティセンター基本構想について

【市民】味生公民館は、バリアフリー化がなされていない、また一時避難場所として指定されているが2階建てのため、水害時の避難場所としては適していない。コミュニティと避難所機能を有した早期建て替えが必要と思うが考えを伺う。

【市長】令和2年度にコミュニティ施設に関する基礎調査を実施し、令和3年度に基

品、大阪成蹊大学とのノベルティグッズ作成、広報紙の特集面づくり、大阪銘木イベントの実施など様々な団体等と連携、協働を展開していく。

本構想を策定する予定であった。新型コロナウイルスの影響で地域懇談会の開催が予定より遅れており、現状では令和4年度の上半期に基本構想策定を終え、その後、竣工に向けて基本設計、実施設計、建設工事を着実に進めていく。

◆淀川河川防災ステーション整備促進と高台まちづくり推進について

【河川防災ステーションの整備促進及び高台まちづくりの推進についての概要と進捗

状況について伺う。

【答】

【市長】淀川や安威川が氾濫した場合、水害リスクが高い地理的特性を踏まえ、住民の生命と身体を守る『防災』の観点から、本市の大きな取り組みの一つとして『高台まちづくり』を推進していく。

河川防災ステーションは国直轄事業であり、現在、国において整備計画承認に向けた最終調整の段階と聞いている。

◆公共交通の確保・維持について

【問】

地域公共交通である路線バスは、廃止や縮小に歯止めがかからず、企業努力も限界に達している。新型コロナウイルスによる影響がバス事業者に大きな打撃を与えている状況である。政府に対して財政支援の要望について考えを伺う。また、鳥飼地域への地下鉄誘致の現状はどのようなものか。産官学によるシェアサイクルの効果について伺う。

【答】

【市長】緊急事態宣言等で乗降客が激減する中、バス事業者へ、国からの『地方創生臨

時交付金』を活用した支援金を市から交付してきた。市による財政負担だけでは限界があるので、令和3年度は国へ財政支援の要望をしている。

【答】

【市長公室長】地下鉄延伸については、今後の少子高齢化の進展や、大阪府及び鉄道事業者が、運賃収入により経常的な運営費を賄うことができないと判断している。また、大阪府の公共交通戦略にも位置付けられていないことから実現は非常に難しい。

【答】

【建設部長】シェアサイクル事業については、市内全域にサイクルポートを新たに21箇所設置し、電動アシスト自転車を一〇〇台設置する。

立憲民主党・市民連合
その他の質問

・鳥飼まちづくりグラウンドデザイン推進事業について

・協働意識の共有について
・通学路や未就学児の交通安全対策について
・上水道の中長期的な企業経営について

・下水道の総合的な浸水対策について

・ゼロカーボンシティの実現について

・安全・安心な公園づくりについて

・鳥飼地域の『つどい場』について

・国民健康保険料改定について

・ものづくり産業振興条例制定について

・成人の年齢引き下げについて

・中期財政見通しについて

一般質問



無所属
森西 正

◆高濃度のペルフルオロオクタン酸(PFOA)問題について

【問】市民から「採れた農作物を食べても大丈夫なのか、食べて問題があるのか」と聞か

れる。対応について伺う。

【答】

【市長】現時点で予見を発することは避けたいと思う。人体にどう影響を及ぼすかは、膨大な知見の集積による確かな根拠が必要である。これから府や国の情報を正確に伝えていく。

◆鳥飼まちづくりグラウンドデザインについて

【問】

グラウンドデザインには、モノレール以外に地下鉄延伸や新幹線鳥飼基地の活用等、新たな鉄軌道が必要と考える。認識について伺う。

【答】

【市長公室長】これまで検討してきたが、莫大な費用負担等の壁が多くある。現時点では具体的な方策は示していないが社会状況の変化に応じて検討していく。

◆淀川河川防災ステーションと高台のまちづくりについて

【問】

防災ブックでは水害時広域避難を呼びかけている。一方で高台を進めようとしている。整合性について伺う。

【答】

【総務部理事】水害時最大約6万人の避難者が出る可能

性があるが、現時点で収容可能が5千人である。すべての高台化は不可能なので、高台化できるところは高台にし、複数の高台をネットワーク化していく。

【問】

安威川、淀川の氾濫だけでなく、内水氾濫は度々発生してきた。広域避難、避難所避難、垂直避難と、どう避難すればいいのか伺う。

【答】

【総務部理事】令和4年度より、各地域から安全な地域まで要する時間、避難経路における渋滞や浸水想定箇所等、市民個々が行動するマイタイムラインの作成準備をしていく。



令和4年 第1回定例会議決結果一覧表

件名 ○:賛成 ×:反対 退:退席 欠:欠席	会派・議員名		維新の会	公明党	市民の会	共産党	市民連合	無所属	採決結果	議決結果					
	議員名	議員名	香塚川良平	出川俊崇	三好こうじ	藤浦雅彦	村上礼子	谷野直毅			南野直司	嶋野浩朗	光野博幸	弘安藤豊	野増永和
議案第1号	令和4年度摂津市一般会計予算		○	○	—	○	×	○	○	賛成多数	可決				
議案第4号	令和4年度摂津市国民健康保険特別会計予算		○	○	—	○	×	○	○	賛成多数	可決				
議案第7号	令和4年度摂津市介護保険特別会計予算		○	○	—	○	×	○	○	賛成多数	可決				
議案第8号	令和4年度摂津市後期高齢者医療特別会計予算		○	○	—	○	×	○	○	賛成多数	可決				
議案第24号	摂津市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の件		○	○	—	○	×	○	○	賛成多数	可決				
議会議案第6号	大阪府の保健所体制と医療の拡充を求める意見書の件		×	○	—	○	○	○	○	賛成多数	可決				

※付議案件のみ掲載しております。 ※議長(「公明党」南野直司)は可否同数を除き議決に加わりません。

第1回定例会 全員賛成の議案

報告第1号	令和3年度摂津市一般会計補正予算(第12号)専決処分報告の件	(承認)
報告第2号	令和3年度摂津市一般会計補正予算(第13号)専決処分報告の件	(承認)
議案第2号	令和4年度摂津市水道事業会計予算	(可決)
議案第3号	令和4年度摂津市下水道事業会計予算	(可決)
議案第5号	令和4年度摂津市財産区財産特別会計予算	(可決)
議案第6号	令和4年度摂津市パートタイマー等退職金共済特別会計予算	(可決)
議案第9号	令和3年度摂津市一般会計補正予算(第14号)	(可決)
議案第10号	令和3年度摂津市一般会計補正予算(第15号)	(可決)
議案第11号	令和3年度摂津市水道事業会計補正予算(第3号)	(可決)
議案第12号	令和3年度摂津市下水道事業会計補正予算(第2号)	(可決)
議案第13号	令和3年度摂津市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	(可決)
議案第14号	令和3年度摂津市介護保険特別会計補正予算(第3号)	(可決)
議案第15号	教育委員会委員の任命について同意を求める件	(同意)
議案第16号	公平委員会委員の選任について同意を求める件	(同意)
議案第17号	摂津市附属機関に関する条例の一部を改正する条例制定の件	(可決)
議案第18号	摂津市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定の件	(可決)
議案第19号	摂津市会計年度任用職員の勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	(可決)
議案第20号	摂津市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	(可決)
議案第21号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定の件	(可決)
議案第22号	摂津市手数料条例の一部を改正する条例制定の件	(可決)
議案第23号	摂津市子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定の件	(可決)
議案第25号	摂津市消防団条例の一部を改正する条例制定の件	(可決)
議案第26号	摂津市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定の件	(可決)
議案第27号	市道路線認定の件	(可決)
議案第28号	令和4年度摂津市一般会計補正予算(第1号)	(可決)
議案第29号	監査委員の選任について同意を求める件	(同意)
議会議案第1号	ロシアによるウクライナに対する軍事侵攻を強く非難する決議の件	(可決)
議会議案第2号	地域公共交通維持のための財政支援の拡充を求める意見書の件	(可決)
議会議案第3号	通学路への安全確保を求める意見書の件	(可決)
議会議案第4号	北朝鮮による拉致問題の早期完全解決を求める意見書の件	(可決)
議会議案第5号	PFOA等による健康影響の解明及び指針等の整備を求める意見書の件	(可決)
議会議案第7号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准に向けた環境整備を求める意見書の件	(可決)
議会議案第8号	介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める意見書の件	(可決)
議会議案第9号	性的少数者に対する差別の解消と共生社会を実現するための法整備を求める意見書の件	(可決)
議会議案第10号	「子ども基本法(仮称)」の早期制定を図り、子ども政策の進展を求める意見書の件	(可決)
議会議案第11号	中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び抗議を求める意見書の件	(可決)

議会の傍聴について

傍聴手続きは簡単です。お気軽に議会事務局(市役所新館3階)へお越しください。
令和4年第2回定例会は、次の予定で開催されます。開会予定時刻は、いずれも午前10時です。
※新型コロナウイルス感染症対策により傍聴の自粛をお願いする場合がありますため、議会のホームページにてご確認ください。

本会議 6月10日(金)、6月24日(金)、6月27日(月)

常任委員会 6月13日(月)、6月14日(火)

駅前等再開発特別委員会 6月16日(木)

なお、会議開会の予定時刻30分前に傍聴者が定員を超えた場合は、抽選となりますので、あらかじめご了承ください。(本会議の映像配信については3ページをご参照ください。)

議会の手話通訳をご希望の方は、事前に議会事務局へお申し込みください。

日程は変更される場合がありますので、傍聴の際には議会事務局までお問い合わせください。



「議会だより」は発行日3日前から発行日前日までに配達しています。届かない場合は、委託業者 近畿ポスティング協同組合(フリーダイヤル 0120-931-629)へ